

■コメント

1. 流行性耳下腺炎

定点当たり1.63人と、例年同時期と比べて多い状況が続いています。

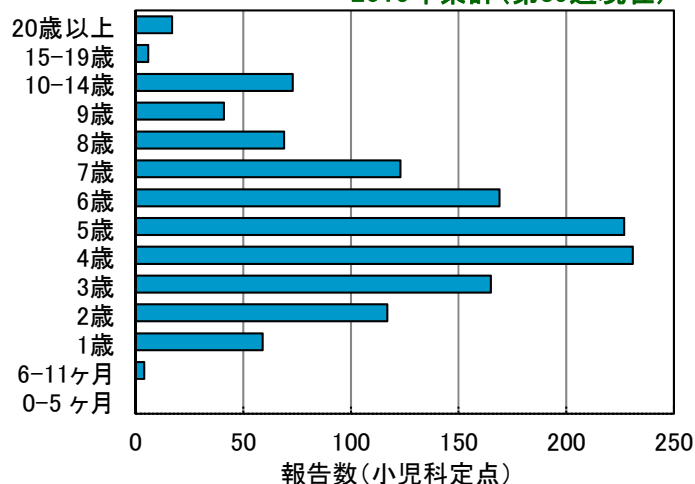
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、耳下腺部(耳の下からあごにかけて)の片側または両側が腫れて痛くなるのが主な特徴で、多くは発熱を伴います。

2015年第1～39週の小児科定点からの累積報告数(1301件)の年齢階層別割合をみると、3～6歳の年齢層が全体の約6割を占めています。

手洗い・うがいの励行など感染予防対策を心がけましょう。

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は6件となりました。(次頁参照)

小児科定点からの流行性耳下腺炎 年齢階層別報告数
2015年累計(第39週現在)

2015年第39週(9月21日～9月27日)は、シルバーウィーク期間中のため、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。

したがって、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	39	1.63	0.68	
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.23		小児科	RSウイルス感染症	24	1.00	0.72	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.25	0.84		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	50	2.08	3.33		眼科	流行性角結膜炎	20	2.50	0.90	
	水痘	2	0.08	0.57		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	82	3.42	0.89		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	11	0.46	0.05		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.28	
	突発性発しん	7	0.29	0.43		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	7	0.29	0.12		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.23							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	113	男性(40歳代)
4	レジオネラ症	1	11	男性(40歳代)・市外
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	18	男性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	6	男性(40歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	定点当たり	全国	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎
第35週	広島市	第35週	—	8	29	96	5	114	6	12	1	35	34	13	—	14	—	—	2	—	—
第36週	—	第36週	1	4	37	74	9	121	6	13	—	16	46	22	—	11	—	1	1	—	—
第37週	—	第37週	10	13	47	74	6	176	7	10	1	24	40	35	—	15	—	—	2	—	—
第38週	—	第38週	6	2	46	79	11	144	19	13	2	17	28	44	—	13	—	—	1	—	—
第39週	—	第39週	—	5	30	50	2	82	11	7	7	8	39	24	—	20	—	—	2	—	—
第35週	—	第35週	—	0.35	1.26	4.17	0.22	4.96	0.26	0.52	0.04	1.52	1.48	0.57	—	1.75	—	—	0.29	—	—
第36週	—	第36週	0.03	0.17	1.54	3.08	0.38	5.04	0.25	0.54	—	0.67	1.92	0.92	—	1.38	—	0.14	0.14	—	—
第37週	—	第37週	0.27	0.54	1.96	3.08	0.25	7.33	0.29	0.42	0.04	1.00	1.67	1.46	—	1.88	—	—	0.29	—	—
第38週	—	第38週	0.16	0.08	1.92	3.29	0.46	6.00	0.79	0.54	0.08	0.71	1.17	1.83	—	1.63	—	—	0.14	—	—
第39週	—	第39週	—	0.21	1.25	2.08	0.08	3.42	0.46	0.29	0.29	0.33	1.63	1.00	—	2.50	—	—	0.29	—	—
第37週	—	第37週	0.07	0.34	1.60	3.32	0.24	4.99	0.52	0.57	0.02	1.02	0.52	0.84	0.01	1.08	0.01	0.07	0.47	0.01	0.01
第38週	—	第38週	0.06	0.31	1.69	3.17	0.28	4.48	0.47	0.56	0.02	0.81	0.54	0.96	0.01	1.04	0.01	0.07	0.56	0.02	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

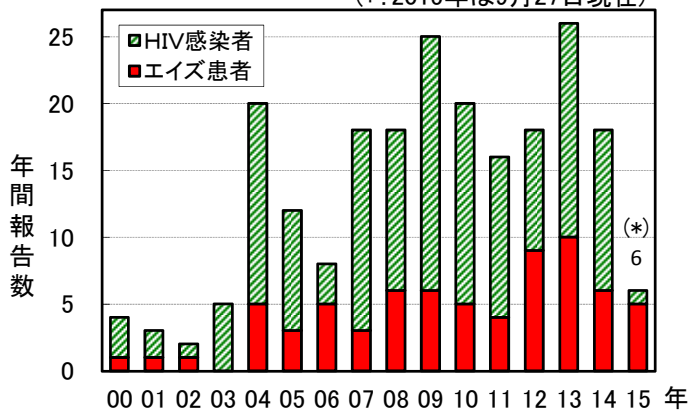
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(40.0) 発疹 口内炎	0	女	2015/07/21	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB4型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.2) 咽頭炎	0	男	2015/07/30	糞便	パレコウイルス1型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2015/07/19	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA9型
その他の疾患	発熱(37.7) 脱力感 筋肉痛	11	男	2015/08/19	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の報告数とHIV抗体検査受検者数の推移

後天性免疫不全症候群の年間報告数の推移

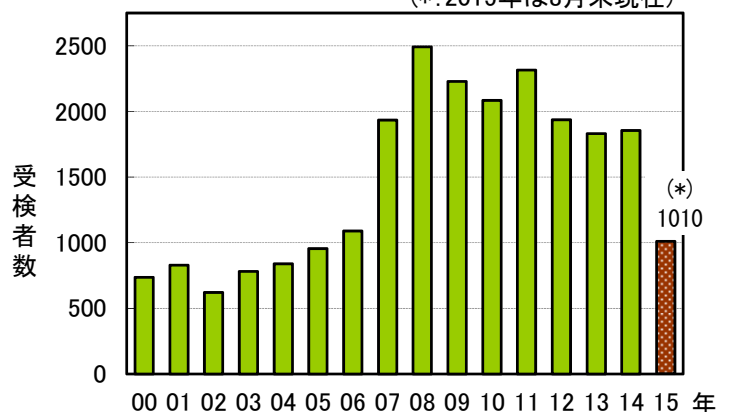
(*: 2015年は9月27日現在)



(注) HIV感染者とは、HIVに感染しているが、発病していない人のこと。

広島市保健所におけるHIV抗体検査受検者数の推移

(*: 2015年は8月末現在)



エイズについての相談と無料・匿名検査は各区保健センター(健康長寿課)へ

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第39週(9月21日～9月27日)